

令和6年度 静岡県立新居高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年5月29日(水) 13:30~15:30
- 2 会場 会議室
- 3 出席者 学校運営協議会委員 片山 雅博(欠席)、中島 登代子、井原 裕司
田代 瑠璃、鈴木 規之、石牧 秀一
学校職員 校長、副校長、教頭(全定)、事務長、書記(総務課 内村)

4 会議の概要

司会 廣野教頭

- ・静岡中央高校西部キャンパス 紹介、挨拶(中村副校長)

(1) 校長挨拶

- ・全日160名入学、計436名。定時制11(12)入学、計46名でスタート。
- ・全日は湖西36%、浜松48%、磐田・袋井16%、定時制は湖西65%、浜松28%、磐田・袋井7%。
- ・DXハイスクール概略説明。新教育課程3年目で指導方法の変化を話す。

(2) 学校運営協議委員会・コンプライアンス委員会について趣旨説明。(副校長)

(3) 学校運営協議委員任命(校長)、委任状は後日。委員紹介。

司会の交代 鈴木 規之様へ

(4) 自己紹介 委員から自己紹介した後に学校職員の自己紹介

(5) 協議

協議1 学校から

- ・学校経営計画について(全日)安心安全と基本的な生活習慣の確立が重点目標。いじめ問題の確実な対応。家庭教育の領域を超えての指導になることもある。(副校長)
- ・スクールミッションについて説明。最低限の学力をつけさせる以前の問題。学校へ来ることを指導。卓球部、陸上部で全国大会を目指している。(定教頭)
- ・全日部活動について別紙の説明。ボート部U19日本代表へ。アジア大会より国体が優先される。日程は未定。水泳部の活躍も期待されている。(全教頭)

協議2 意見交換

- ・スクールポリシーは文科省の指示より学校が作ることになっている。(中島)
- ・昔は力のある先生と元気な生徒とのバランスがとれていたが、今は大人しい生徒が多く陰で行う。見えない所をどう表に出せるか。入学してから先を宣伝すればよい。どの会社、どこの大学へ行けるか。新居高での優位性を示したらどうか。(石牧)
- ・文科系部活動の活躍はどうなっているか。(井原)
文化系は秋口になる。ボランティア、イベント参加など地域との共存は多い。(全教頭)
生徒が持っている、いろいろな才能を伸ばしてほしい。(井原)
新居高ではそんなことができるよと中学生に伝えればよい。(石牧)
「新居高だより」に通し番号を付けたらいい。どの学校も出口が大切である。文化系の賞は教員が探してこないといけない。ホームページ、SNSで調べてから入学する子は多い。外側の評価と内側の評価がある。(中島)
リクルート(外側の評価)と分けていく。(校長)

- ・外国人支援の先生について、卒業生で多言語を使える人を探したらどうか。(中島)
- ボランティアではできている。まずはマンパワーで。(校長)

部活動の支援について

- ・ボート部など選抜の大会へ行くのに学校がお金を払う。資金がかかる。(全教頭)
- 企業と話をつけロゴをいれる。スポンサーになってもらう。(中島)
- 高体連では認めていない。(定教頭)
- 学校から外れると部活でなくなる。働き方改革もあり、問題がある。(校長)
- 国体へ出て得点するとボート協会へお金が入る。(マイナー競技は国体を重視)(定教頭)
- クラウドファンディングやスポンサー契約など資金調達方法の情報、知恵を頂きたい。(校長)

DXハイスクールについて

- ・DXハイスクールについて説明。理系を作れ！企業の売り込み合戦になっている。(全教頭)
- 書き方が大事。支援対象例は使いましょう。(中島)
- いろいろな人から話を聞くことに費やす。他校ではモノを買っておしまいのところが多い。ものよりも人に投資をしたい。(全教頭)
- 話を聞いて人が育つか？(中島)

- ・外国人支援については2回目の学校運営協議会で回答していきたい。(校長)

司会(鈴木)の言葉で15:35終了する。

今後の日程、ラインの作成、記念写真を撮って解散する。